- 庄原実業高等学校における「スマート農業」の取組について、御説明いたします。
- 〇 現在、農業関係高等学校では、地域農業を教材としながら、ICTなどの先端技術 を活用した次世代農業に関する学習展開が求められております。
- 〇 そのような中、庄原実業高等学校では、令和3年度から文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」の指定を受け、県内のスマート農業を牽引している(株) vegeta(ベジタ)の谷口代表取締役を産業実務家教員として任用させていただいております。
- 〇 今回,令和4年5月27日(金曜日)に、(株) vegeta(ベジタ)所有の次世代田植え機による「田植え」実習を庄原実業高等学校で行います。

この次世代田植え機は、GPS位置情報と各種センサを装備しており、省力化と苗の無駄な消費を抑えることができる最新の機器になります。

- O 庄原実業高等学校では、この他にも、ドローン空撮による写真測量、フィールドサーバと言いまして、土の中にセンサーを刺すような形になりますけれども、それの設置による環境モニタリング、農業用ドローンの活用実習など、次世代農業を展開した様々な学習を行っております。
- 今後も地域の農業高校生が農業の価値を発信し、先端技術を駆使した新たな農業の 在り方を提言するなど、魅力ある教育活動で地域産業を盛り上げてまいりたいと考え ております。
- 説明は、以上でございます。